

【第4号様式】

令和8年度 第3回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 相談支援部会（定例会） 議事録	
日 時	令和8年6月26日（金）15:30 ～17:30
開催場所	保土ヶ谷区役所 地下会議室
出席者	【計画相談】ゆめ、ハーモニー、てらん広場、エススタイルほどがや、たちほどがや、夢21 相談支援、タキオンネクスト、地域生活支援センター、みらいライフ、オレンジよこはま、コンシェル、いっしょ。、アルテア、リンクスルミナス、秋桜ネットワーク、さーくる、光の丘、わおん、生活SC 【その他】 発達障害者支援センター、十愛病院、コペルプラス天王町基幹、区 ※司会進行：わおん、記録：生活SC・受付：基幹・区 ※敬称略
欠席者	かのん、恵和相談室、横浜西部就労支援センター、偕恵いわまワークス、サポートセンターオリーブ、はる相談支援、ウィング、光風会相談センター、西部地域療育センター、障害者更生相談所、あおば、ぺんぎんホームケア、反町福祉機器支援センター、いろどり西横浜、市立ろう学校 ※敬称略
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ 非公開
議題	1、事務局より 田中部会長（15:30～15:40） ・開会のあいさつ ・講師・横山氏のご紹介 2、勉強会Ⅱ（15:40～17:25） ○講義（15:40～16:40） 「計画相談業務について」 講師・銀杏の大樹 管理者 横山英司氏 【講義より一部抜粋】 ○目指すべきこと ・ムリ、ムダ、ムラを無くす！ ・利用者マネジメント＝適正運営 ○限界件数 能力（知識・経験・スキル等）、事業所としてのキャパ含めると100件までがおおよその限界。黒字化なら一人80件が目安。複数体制の事業所であれば管理者は件数減がよい。 ○加算取得が黒字化のカギ！ ・加算を理解し、必要なことを行っている対価としてきちんと取りに行く！ ・自事業所の単価を知る！ ・機能強化型加算 協働体制加算 他事業所と手を組み、加算を得る 会議はオンラインでOK、電話24時間体制（電話：基本的にはとるが、何時間内にとる・折り返すという決まりはない。留守電をきく、翌日に折り返す形でもOK） →デメリットは急な加算終了もあり得る事。また、将来的に就労Bと併せて見直される可能性あり。

○明確な目標立てや効率化への取り組みが大事！

質の向上（効率化）

→ルート、移動時間の短縮、訪問時間の効率、他機関との繋がり強化

（対象エリアを限定することで依頼しやすくなる）

・受託希望利用者の調整→ペースを考えながら受託

人員体制都合を伝え、お断りすることは可能

・同一通所先の複数利用者受託

※当月のモニタリング サービスを表にして、1日から電話・書面にて状況を確認し、モニタリング報告書を記入して頂く。

自分にとって信頼できる事業所を沢山つくるのが大事！

・書類整備（オリジナル書類）

→居宅介護申込書

利用者を受けてもらえるように各事業所に申込書を出す

その際に、事前に聞きたいことを記載する（駐車場有無、ペット有無など）

→担当者会議開催通知…欠席事業所に問い合わせせずとも、市からの指導無し。

介護保険は原則欠席理由、欠席時の照会をしていないと指導項目となっている。

計画相談も同様に行う必要あり。

会議は終了時刻も伝ええると参加者も出欠判断しやすくなる。

・全員担当制とし、ケースを共有

・書類作成、記録関連は定型文をイメージする

記録のタイトルまで定型化している

・スケジュールリング

20～22日の実働日の動き、流れの把握

利用者を育てる…15分遅れる際には連絡すると事前に伝えたり、モニタリングをイメージしてもらう。

予定の組み方は次回まで先に決めておくのと逆に縛られることもある。複数候補をあげて選択してもらう。移動を含めて1時間におさめ、効率化をはかる

・自立支援協議会の活用

人脈を作ることがプラスになる！

・AI活用

n o m a n 1800円/月（アイパット付） 300円で保証月 報告書作成ソフト

○計画相談の位置づけ

この先に何が起こるか予測し、負担を減らせるかを計画する。

サービスを的確に利用し、司令塔になれることが大事である。

人を作る、活かす、繋げることが大切！

資源をいかにうまく使いこなすかによって変わる。人材こそ地域の最大の社会資源！

○GW「テーマ：導入したいこと、講師への質問」（16：40～17：00）

○GW 共有 ※グループで質問事項含む（17：00～17：15）

【1グループ】

モニタリング時間が長くなる。保護者対応に時間がかかる

利用用者に加えて、保護者の育て方があるか？

モニタリング内容をみていない区ワーカーも多い
変化のない方は書きにくいので定型文活用により効率化をはかりたい
AI 活用について

【2グループ】

ノーマン導入してみたい。効率化をはかりたい
加算の取り方、意識しながら予定を組むことも大切
全員担当制は職員間のストレス分散、依存の軽減につながる
在宅モニタリングの効率化
モニタリング日は事業所を早めに終了して帰宅してもらうやり方もあるのかと思った
AI 効率化など出来ることを行った上での限界値 100 件だと思ったが、1 日 100 件電話がきたらどうすればよいか
モニタリング加算はどのように取得しているか、

【4グループ】

AI ソフトを使いながらスケジューリングし、加算もうまく取得していければよい
他ソフトも含めて種類や導入方法など様々な事業所にきけたらよい
スケジュールは兼務だと事業所・個人の体制で組み方が変わってくる
ひとりで悩むことが多いので、共同体の仕組みが活用できるとよい
記録の仕方に悩むので定型があると助かる
報告書の定型文を教えて欲しい。作るのにどのような手順で作ったか？
利用者をうまく育てる魔法の一言があれば教えて欲しい

【6グループ】

オリジナル書式、AI 効率化が参考になった
AI も育てないといけない、相談員としてしっかりやりたい所に時間をさけるように AI 活用すると良い
兼務するときの時間配分はコツがあるか？

【5グループ】

モニタリングはサイン含め 2 回行く必要があるが、PC 持参、先に書式づくり 1 回訪問とするなど工夫している
効率よく自転車で動いている
エリアをまとめられると良いが実際はなかなかそうもいかない
加算の仕組みとして、ヘルパー事業所を主としており、計画と兼務なのでどう加算をとるかが悩みどころ
自社の利用者をやっている分、依存しやすい・情報を得やすい両側面あり難しい
ヘルパーが不足が顕著

【3G】

兼務のため体制加算がとれない
A I 利用しているが、今はランニングコスト的に不安がある

○横山氏 質問への回答とまとめ（17：15～17：25）

・定型文について

シチュエーション的に多いものから作ると良い。

「変化なし」が基本。自信をもって言えることが大事。

体調や希望に変化有無があるかをみることが大切。

ヘルパーさん達には勝てない。

・電話対応について

電話が多い人には少しずつ約束をつくり、伝えていく。対等な関係で契約している。

福祉サービスを使うことでルールを守れるかも大事である。

・魔法の一言について

自信をもって発言することが大事。迷いをみせると利用者が不安になる。信頼はなかなか構築出来ないが、困った時に役に立つと信用してもらえるよう、プロという意識をもって関わるのが大事。

・モニタリングはアポ取りでしっかり聞き取り、事前に記載していくため1回で行く。

・兼務とのバランスについて

採算をとれる方に本腰を入れてほしい。

国・市としても兼務を推奨していない。現状で兼務では難しい。

計画相談が地位や専門性を高めるには、専任で勉強をしていかなければいけない。まずは自分が元気に仕事を続けることが、最終的に利用者のためになる！

燃え尽きないように！自分を甘くするために効率化をはかる。

・加算について

訪看や往診時にモニタリングに行く癖をつけると、医療保育が取得できる

3、インフォメーション等（17：25～17：30）

・事業所訪問

【5月訪問】

5/7日（木）16：30 リンクルミナス

5/12日（水）10：30 いっしょ

5/21日（木）14：00 かのん /

5/26日（火）10：00 てらん /

【6月訪問】

6/17（水）10：30～エススタイル保土ヶ谷

6/17（水）14：30～K3-office

6/23（火）15：30～横浜包摂相談センター

※7月・8月訪問を希望される事業所がありましたら、基幹相談にご連絡ください。

○計画相談の実施状況

中区、金沢区が80パーセント台

【計画相談の実施状況】R 8 年 3 月末実績（5 月主任連絡会）※R 8 年 2 月との比較

	対象者数 (障福サービス+ 地域相談利用者)	計画相談 決定数	計画相談未決定者				実施率 (計画相談+ 介護保険利用者)	事業所数
			介護保険利用 者 (ケアプラン ン)	セルフプラン 希望者	事業者が 見つからない	その 他		
保土ヶ谷	1,835 (+1)	939 (+7)	74 (+3)	383 (-2)	434 (-1)	5	55.2% (+0.3)	24 (±0)
18 区 計	29,688 (+49)	16,837 (+41)	1,496 (-2)	6,504 (+39)	4,766 (-21)	85	61.8% (+0.1)	283 (-2)

【その他機関等より情報共有】

・災害時個別避難計画の取り組み 市HP参照

R 6 年度 洪水災害要介護3～ 身体

計画相談利用者で対象地域、対象障害の方について

11 月頃市からメールが届く予定

・要支援の特例運用 アセスメントを目的とする移動支援運用

地域移行の見込みがある方で施設本入所者の移動支援が月最大5時間利用可能となる

4、まとめ 挨拶

田中部会長より

・次回予告

・メのあいさつ

次回 相談支援部会

日時：令和8年7月24日（金）15：30～17：30

場所：保土ヶ谷区役所 地下会議室

内容：GSV研修